



# 学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukayadai>

令和4年2月28日

## 3月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

## 自信を胸に新たな一歩を

校長 角井 治朗

窓から差し込む日差しが日増しに強くなり、冷たい空気の中にも春の息吹を感じる頃となりました。校庭で元気に遊ぶ子どもたちの中にも半袖の姿が目につくようになり、感染症の状況やワクチン接種のニュースに気をとられているうちに、あっという間に季節は本格的な春を迎えています。新規感染者数こそ減少に転じたとの報道がある一方、依然として予断を許さない状況のまま3月を迎えることになり、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年を思い返さずにはいられません。このような一年間を過ごす中で改めて感じてきたことは、やはり人と人とのつながりの大切さです。今年度は、学年をこえたふれあい活動や子ども同士の学び合いの場も形を変えたり縮小したりせざるを得ず、保護者の皆様や地域の方々と関わる機会も十分にもつことはできませんでした。それでも一年間、子どもたちが学びを進めることができたのは、これまで大切に培ってきた信頼し合える関係がベースにあったからではないかと思います。今年度から本格的にスタートしたGIGAスクール構想も感染症拡大防止対策の一つにはなりますが、ベースとなるつながりがなくては効果的な運用はできません。今後も様々な困難を共に乗り越えていかれるような関係をより強くしていくため、つながりを大切にした教育活動の充実や学校づくりを進めていきたいと、気持ちを新たにしています。そして、間もなく進学、進級を迎える子どもたちには、この困難の多い一年間を共にしっかりと乗り越えてきたことを自信に、新たな一歩を踏み出してほしいと思っています。

さて、令和4年度、学校は新たな中期学校経営方針3か年計画を策定し、スタートする年を迎えます。現在、校内においても、今の子どもたちの姿をしっかりと見とると共に、これまで学校に寄せられたご意見や学校評価アンケートの結果等をていねいに分析し、これからの教育活動の中で大切にしていきたいことについて話し合っています。同時に、日々行われる一時間一時間の授業の中で、いかに「質の高い学び」を実現してくかについても検討しています。今後、学校経営において様々な変更点が出てくるかと思いますが、その際には、趣旨をしっかりとご説明しながら進めていきますので、どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今年度、子どもたちの成長を見守りながら、本校の教育活動にご理解ご協力をいただいた保護者や地域の皆様、関係機関の皆様にご心からお礼申し上げます。そして、間もなく迎えます新年度も、変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。